

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	仙台市あおぞらホーム		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 19日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園児一人ひとりのアセスメントを実施し個別支援計画を作成。 保育での実施と保護者への説明	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達のアセスメントを適切に行い、保育内容を充実させる ・個別支援計画の保護者への説明を丁寧にわかりやすく行う 	個別支援計画画面談等でそれぞれのこどもたちの発達を伝え、家庭での生活の中での工夫等を伝えられるよう、発達の理解等について職員の育成に取り組む
2	災害時や緊急時に必要なマニュアルの整備と、職員で毎月緊急対応の訓練を行い、園児の安全を考え対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行う避難訓練の他に、医療的ケアが必要なこどもの様々な緊急時を予想し職員のみで緊急対応訓練をおこなっている。 緊急時に園児・保護者の安全が守れるよう職員それぞれの役割、機材の確認を行っている。 	園児と保護者の安全・安心の中で療育が提供できるような訓練や研修を行っている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の保護者とのミーティングのあり方	ミーティングの内容や伝え方が保護者とこどもの発達の共有の内容になっているか。 一方的に保育内容を伝えるだけになっていないか。	日々、保護者にこどもたちの療育の内容をどのように発達とつなげて話していくことは発達がわからないと話すことができない。 職員の発達理解等の研修を行い育成をしっかりと考えていく
2	保護者の相談が適切におこなえているか	保護者からの家庭でのこと、子育てについての相談について適切に応じられているか。保護者からの相談内容が職員全体で共有されているか。	あおぞらホーム内でのこどもの様子だけでなく、家庭での様子や保護者の困り感等も含めて保護者と一緒に考えて行く必要がある。すぐ適切に伝えられなくてもあおぞらホーム内で共有しきちんと保護者に返していくことを徹底する